

公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



特集 「関ブロ・全国大会埼玉大会への参加を」 事務局長

4.5

- 2 トピックス 「第2回理事会開催 永年勤続者表彰受賞者決まる」
- 3 視点 「地区公民館体制の改革に思う」 糸魚川市・井守五十吉
- 3 ひろば 「社会教育委員になって」 南魚沼市・鈴木 智子
- 6 実践記録シリーズ 「粟島浦村の運動会について」 粟島浦村
- 7 サークル交流 「フラに出合って」(湯沢町) / 「三味線と共に」(新潟市)
- 7 素顔拝見 牛田 伸幸さん(田上町) / 武内 朋廣さん(上越市)
- 8 お元気ですか 「おげんきですか」胎内市・五十嵐聖一さん
- 8 恵贈資料紹介 ネットワーク



「子ども将棋教室(分水公民館)」(燕市)

表紙解説

将棋と子どもたちを愛する『分水王将会』の皆さんのご指導のもと、今年度もスタートしました。

第2回理事会開催 永年勤続者表彰受賞者決まる

平成26年度の第2回理事会が6月11日(水)新潟市中央公民館で開催されました。会議では、県大会で表彰される永年勤続者表彰の受賞対象者の審議が行われ、次の方々の受賞が決定しました。



候補者を慎重審議 理事会

- (敬称略)
- 安達 俊堂 (出雲崎町)
 - 曾根 良子 (〃)
 - 竹本 幸子 (燕市)
 - 高波三太夫 (三条市)
 - 岡田 正子 (五泉市)
 - 土田 博 (〃)
 - 五十嵐忠平 (〃)
 - 金山 昭英 (〃)
 - 樋口 義彦 (〃)
 - 芳賀 大策 (〃)
 - 熊倉恵巳子 (〃)
 - 目黒 司 (〃)
 - 神尾 忠 (〃)
 - 豊島 洋子 (〃)

- 嶋田 吉富 (五泉市)
 - 林 力 (〃)
 - 高橋 サチ (〃)
 - 畑 重雄 (〃)
 - 塚野 一宏 (〃)
 - 佐藤 昇治 (見附市)
 - 若杉 リツ (〃)
 - 山崎 保一 (〃)
 - 南雲 京子 (〃)
 - 高橋 重慶 (〃)
 - 浅井 和代 (魚沼市)
 - 松原 孝 (〃)
 - 渡辺 淳子 (新潟市)
 - 近藤 文子 (〃)
 - 岩崎 亀次 (〃)
 - 丸山 信雄 (〃)
 - 梅田 忠 (〃)
 - 村山 清一 (〃)
 - 堤 美幸 (〃)
 - 羽鳥 仁一 (長岡市)
 - 山本 綾子 (〃)
 - 阿部 修 (加茂市)
 - 外石 榮子 (〃)
 - 間野百合子 (〃)
 - 古川 政治 (〃)
 - 古川裕美子 (〃)
 - 今井 哲郎 (〃)
 - 石崎 茂 (〃)
 - 日岡 孝子 (小千谷市)
- 以上、43名です。授与式は県大会の開会式で行われ、賞状と記念品が贈られます。現在、受賞者の出席を集中中で

すが多数の方が出席される模様です。お知らせの方も多いため、どうぞご来場いただき大きな拍手を送ってください。

今回は、受賞要件のうち、経歴通算年数を15年から10年に改正されたこともあり例年の受賞者数を大きく超える受賞者となりました。理事会では、県大会の準備状況の報告、協議もありました。

①JR 亀田駅を利用する方については申込み状況を見て、駅から会場までの送迎をする予定である。

②各地区の実践事例発表者が決定。

- 上越地区 美樹
- 大坪 美樹
- 中越地区 (上越市公民館)
- 間島みよ子 (柏崎市北鯖石コミュニティセンター)
- 下越地区 ニテイセンター
- 岸 宗光

3人が、それぞれの地区・公民館等で実践している防災についての事例発表があります。大会の詳細プログラムが決定しました。

- 1 受付 10:00 ~ 10:30
 - 2 開会式 10:30 ~ 11:00
 - 3 表彰 あいさつ 11:00 ~ 12:00
 - 4 記念講演 NPO法人 プラス・アーツ理事長 永田 宏和様
 - 5 「災害に強いまちづくりのために、公民館ができること」 アトラクション 12:45 ~ 13:00
 - 6 越王太鼓保存会 事例発表 13:00 ~ 15:00
 - 7 閉会式 15:00 ~ 15:20
 - 8 閉会式 15:20 ~ 15:30
- 閉会式では次期開催地への大会旗の引継ぎがあります。来年の第66回県大会は下越地区が主管で、大会開催地は聖籠町に決定しています。大会の開催準備は順調に進んでいます。新潟市と県公連事務局では大会紀要作成や参加者のとりまとめなど最後の作業に取り組んでいます。(事務局・田原)

「新潟県公民館月報」 毎月 15 日発行 いつでも申込み受付中

公民館月報 定価1部160円 年間1,920円(いずれも送料含む)

申込先 〒950-2004 新潟市西区平島1301番地 中野プラザ107 新潟県公民館連合会 TEL・FAX025-266-7711

視点

「地区公民館体制の改革に思う」

糸魚川地区公民館長 井守五十吉



旧糸魚川市・能生町・青海町の地区公民館では、主事を置き活動を預かり集会的活動をしている地域・行政が計画を立て出る方式で活動している地域があり、組織体制と活動内容に大きな違いがあった。そのため、平成十七年の合併時に統一した見解が出せなく、五年間の検討期間を設けた。行政当局は、出先機関連業務を行わせ易くするため、住民の自主と地域づくりを名目に「協働館」と改名し、首長部局に主管を移行する計画を発表した。そこには、社教法から離脱・職員自身の身分の降格と給与の激減があった。本来の公民館活動を行ってきた糸魚川地域では、社教法に準拠した公民館でも主体的に地域づくりの拠点となつて活動できる。「人づくり」は「地

域づくり」の基盤である。また、今ここで社教法という公民館活動の「主軸」を外せば、組織は弱体化し万屋の「館」になることを懸念した。そこで、自治体と手を組み要望書を提示して市長交渉を行った。結果的には、公民館という名称・社会教育の実施・主管は教育委員会という制度は従来通りになったが、社教法からの離脱・職員の削減・雇用の民間化・給与の激減は阻止できなかった。また、他地域でも別な要望があり、検討期間後三年の移行期間を設けたが、いまだに完全実施に至っていない。一方、糸魚川市の中央公民館は社教法の範疇にあるが、「館」がない。このような公民館が円滑に運営されるか心配は絶えない。

H O T N E W S 掲 示 板

本紙編集委員会開催

今年度の第1回公民館月報編集委員会が開催されます。

日時 平成26年7月24日(木) 13:30~

会場 新潟市中央公民館

今年度の編集委員は次のとおりです。

- 大坪 美樹 (上越市立公民館)
- 長谷川明寿 (県生涯学習推進センター)
- 長谷川健康 (三条市中央公民館)
- 佐藤 亨 (出雲崎町中央公民館)
- 渡辺佳津志 (聖籠町公民館)
- 船山 靖子 (新潟市中央公民館)
- 吉田英津子 (新潟市白根地区公民館)
- 田原 理 (県公連)



昨年度第2回編集委員会の様子

「社会教育委員になって」

南魚沼市社会教育委員 鈴木 智子

平成26年4月に南魚沼市社会教育委員を委嘱されました。一体何をすればいいのか不安でいっぱいでしたが、親切な先輩委員から「社会教育委員の手引き」という資料をいただき読んでみると「今まで自分のやってきた活動が役にたつのかな」と思い始めています。

平成20年度から南魚沼市家庭教育支援委員となり、小学校の中に子ども、保護者、地域の皆さんが気軽に立ち寄れる場所「だんぼの部屋」で活動しています。何気ないおしゃべりから、貴重な情報をゲットできます。イケメン高校生講師の「親子料理教室」お裁縫の得意なママを講師に「もの作り教室」子どもとの関係に困っている保護者と一緒

に考え「親業講座」「特別支援教育学習会」等を年間10講座ほど開催しています。また月1回広報紙「だんぼすROOM」を発行しています。こうしてみると地域の中に素晴らしい人材、活動がいっぱいあることに気がつきました。

「そんな人たちの応援や、お手伝いが社会教育委員の役割かな？」と感じ、先輩委員の方々と一緒に活動していきたいと思っています。



埼玉大会への参加を

事例発表者：鳥取県醇風地区公民館長 米谷信夫氏
鳥取県佐治地区公民館長 奥田哲実氏
指導助言者：平石銀座メディカルクリニック院長
平石貴久氏

第5分科会「伝統・文化を継承する公民館」
熊谷文化創造館さくらめいと
「ふるさとの思いを伝承する地域づくり」

事例発表者：富岡市教育部生涯学習課 石井 明氏
富岡市教育部生涯学習課 茂木秀明氏
指導助言者：國學院大學兼任講師 板橋晴夫氏



第3分科会場 行田市みらい



第2、第4分科会場行田市商工センター

埼玉県公連(関プロ公連)会長の野口信夫氏は、大会の開催趣旨について次のように述べています。

全国の公民館は、地域住民のために様々な困難を乗り越え、教育、文化の向上をはじめ、社会福祉の増進、生活文化の振興等に取り組んで参りました。しかしながら、現代社会の急激な変化にあつて、公民館数は年々減少しています。また、最近の公民館は地域とのかかわりあいが増加している傾向があります。こうした社会の変容と地域住民の生活構造の変化に対し、「公民館のあるべき姿」を考える時期を迎えております。

社会教育の中核をになう公民館は、いつの世も人と人がむすび、つながり、広がることのできる場として、重要な役割を果たしていかなければなりません。

また、将来を担う子どもたちや住民の声に耳を

傾け、地域を主体とした地域づくりの機運を高めていく役割も期待されています。

公民館には、多様な学習活動を通じて、地域住民の自立に向けた意識(自助)を高めるとともに、学習活動の成果を地域づくり(共助)に結び付けていく力があります。住民の熱心な取り組みと協働し、現代社会の要請に応えることができる公民館として日本一暑いまちからあつい思いを発信します。

県内各市町村(中央公民館)に大会開催パンフレットと申込み用紙一式が送付されました。新潟県では参加者を当連合会事務局がとりまとめ、一括して参加申込みをします。

県公連への締めきりは平成26年8月1日(金)です。

参加費も一括で取りまとめます。県公連の指定口座に振り込んでください。

参加の取消は8月29日(金)です。これ以後は参加費の返還がありませんのでご注意ください。

申込み後、9月中旬に、「参加券」「領収書」が当該市町村に送付されます。

昨年は関プロ新潟県大会で埼玉県から多数の参加を得ました。近県ですので昨年の返礼の意味を込めて是非多数の参加をお願いいたします。

問い合わせ

新潟県公民館連合会

(事務局 田原 理 島津和子)

〒950-2004 新潟市西区平島1301番地
中野プラザ107

TEL, FAX : 025-266-7711

E-mail : ni-koren@juno.ocn.ne.jp

第36回全国公民館研究集会in

埼玉県実行委員会事務局

〒361-0032 埼玉県行田市佐間3-24-7
行田市教育文化センターみらい内
埼玉県公民館連絡協議会

TEL : 048-552-0291

FAX : 048-553-5760

E-mail : saikoukyo2@tvgn.ne.jp

*参加、宿泊等取りまとめ旅行業者

トッフツアー(株)さいたま支店

「第36回全国公民館研究集会in埼玉」係

〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町4-25

ユニオンビルディング6F

TEL : 048-640-1009

特集

関ブロ・全国大会



事務局長
田原 理

今年の関東甲信越静公民館研究大会は全国公民館研究集会と兼ねて埼玉県で開催されます。すでに月報5月号のトピックスでとりあげましたが、このたび正式に開催要項と申込み用紙が埼玉県事務局から送付されてきましたので再度詳細を「特集」として掲載します。開催概要と日程の詳細は次のとおりです。

大会テーマ「公民館よ あつくなれ！」
～時代の変化に対応し、
地域との連携を深める公民館をめざして～

1 主催

全国公民館連合会 関東甲信越静公民館連絡協議会 埼玉県公民館連絡協議会

2 後援

文部科学省 埼玉県 関東甲信越静地区県教育委員会 他

3 参加対象者

公民館関係者 他市民等

4 日程

- 〈第1日〉平成26年10月16日(木)
- 全体会 埼玉県熊谷会館
- 10:30~11:00 関ブロ大会受付
- 11:00~11:40 第55回関東甲信越静公民館研究大会
- 11:40~12:40 全国大会受付
- 12:40~12:50 オープニング
- 12:50~13:40 開会行事
- 13:45~14:25 文部科学省説明
- 14:30~15:00 アトラクション
埼玉県指定無形民族文化財
小鹿野歌舞伎
- 15:15~16:45 記念講演
作家 森村誠一氏
～実りある人生の実りとは～
- 16:45~16:55 閉会行事
- 〈第2日〉平成26年10月17日(金)
- 分科会 熊谷市2会場 行田市3会場
- 9:20~9:50 受付
- 9:50~10:00 開会あいさつ・日程説明等
- 10:00~12:00 事例発表・質疑・研究協議
- 12:00~13:00 昼食・休憩

- 13:00~15:00 指導・出席者参加型協議・
指導助言者の講話等
- 15:00~15:10 閉会行事



第1分科会場 熊谷文化会館さくらめいと



第5分科会場月のホール

5 分科会

- 第1分科会「まなびまなびあう公民館」
熊谷文化創造館さくらめいと
「つどい×まなび×むすぶ公民館の役割」
事例発表者：熊谷市桜木公民館前館長 岡戸 博氏
指導助言者：新潟経営大学教授 中島 純氏
- 第2分科会「安心できる防災拠点の公民館」
行田市商工センター
「非常時に備えた日ごろの公民館活動
～浦安市・千葉の災害時対応事例をとおして～」
事例発表者：浦安市日の出公民館長 高梨晶子氏
千葉市稲浜公民館長 立石憲吾氏
指導助言者：福島県富岡町生活復興支援センター長 天野和彦氏
- 第3分科会「寄り合い支え合う公民館」
教育文化センターみらい
「“共助”による地域社会の活性化」
事例発表者：サザン地域支え合い協議会長 杉原行雄氏
鶴ヶ島市大橋公民館長 関根 薫氏
指導助言者：立川市大山自治会長 佐藤良子氏
- 第4分科会「高齢者が活躍する公民館」
行田市商工センター
「高齢者の社会参画の推進」

実践記録

196

シリーズ

粟島浦村の運動会について

粟島浦村

普通、運動会といえば学校の運動会を思い出します。事実、粟島浦村でも9月に学校運動会が開催され、活躍する子どもたちの姿を見に、両親や祖父母が足を運びます。それだけではありません。自分の子どもや孫が出場しないのにも関わらずに応援に駆け付ける地域の人たちもいます。これぞまさに、学校が地域のきずなの象徴であることを示すものであります。



その運動会から約1か月後、今度は村民運動会が10月に開催されます。これは大人が主役の運動会であって、準備は8月のお盆過ぎから始まります。役場職員、漁協職員、学校職員などで構成される村民有志が集結し、競技部、編成部、式典部の3つの部ごとに分かれて、競技種目の選定などを自分たちの手で行うのです。



運動会当日は参加者が朝早くから集結し学校グラウンドで準備を始めます。この運動会に参加する人たちは、自分の出場する競技にはプレイヤーとして参加し、それ以外の競技にはスタッフとして参加し



ます。時に急に都合が悪くなって競技に参加出来なくなる人もいますが、そのような時は別の人が飛び入りで参加するのです。この絶妙なチームワークというのは村民の誇るべきものであります。

昼休みをはさみ、午後3時頃まで開催される村民運動会の後は、大人のお楽しみ「慰労会」の開催です。役場2階公民館集会室には100名近くの協力者たちが集結し、乾杯と共にビール、焼酎などを堪能し、大いに盛り上がります。そして参加者は粟島浦村民であることの誇りを、仲間としてのきずなを確かめ合うのです。

このように大いに盛り上がる運動会が終わると、いよいよ粟島は冬を迎えます。高速船が運航するのは10月まで、11月からはフェリーのみの運航となります。次第に天候は厳しくなり、低気圧が近づけばすぐに欠航します。運動会とは、厳しい冬が来る前に、忙しい夏を頑張った村民の、村民による、村民のための贈り物なのです。(渡辺)



フニヨロコ

アロハ・カアラケア・オ・フラ

ゆったりした動きに魅せられて、フラ教室に入会して9年目になります。ハワイ語もわからず青色吐息でしたが続けるうちに踊りらしくなり、仲間も集まり現在に至っています。会員の大半は子育て孫育て中ですが、地域のイベント・各施設でのボランティア・発表会等に参加しながら楽しんでいきます。忙しい家事の合間に互いに声を掛け合い、気持ちよく送り出してくれる家族に感謝しつつ健康づくりと仲間づくり、もっと上手に踊りたくて練習しています。毎



年ハワイから先生が指導に来て下さいます。言葉は不自由ですが、フラを介して交流させていただいています。最近20代30代の若い人たちが入会しうれしい限りです。現在の会員数は16名です。

湯沢町・アロハ・ハ・カ・ラアケア・オ・フラ
南雲 俊子 記



三味線と共に

鳥西会

郷土の伝統民謡を誇りに、三味線演奏と唄を楽しんでいるサークルです。今年で二十四年になりますが、現在会員は八名(男性一名、女性七名)殆どが六七十歳代です。例会は、第一、第三火曜日

の午後一時から三時ですが、第二、第四火曜日にも実施することが多いです。

年間の演奏発表の機会も多くあります。公民館の文化祭発表の参加は勿論ですが、老人ホームへの慰問や、近くの小学校や老人クラブの行事など、演奏依頼がある時には披露させていただいております。

私どもは、個々に「新潟国際友好市民の会」のメンバーとして、ホームステイ、ホームビジットは勿論、新潟大学キャンパスまで出向き、日本の伝統文化の一つとして紹介しながら、大きな喜びを味わっています。

とてもとても楽しいです。入会は随時お待ちしております。



新潟市・文責 鳥西会代表
大内 陸司 記

アルビカラーのポロシャツをまとい業務に邁進する青年。2年前新採用職員として公民館に配属され今年3年目を迎える牛田主事は「うっしー」の愛称で親しまれ、子ども関係、施設管理、各種スポーツ大会関係事業の担当をしています。多岐にわたる慣れない業務に当初は慌ててバタバタしていましたが、現在はすっかり落ち着き、見た目同様各事業を支える大黒柱になりつつあります。



田上町公民館
主事 牛田 伸幸さん

何事にも全力で取組み昼夜土日もフル稼働の日々を過ごしている彼ですが、集中しすぎて周りが見えなくなるのが玉に瑕。適度に休みながらゆとりを持つことも大事ですよ。

そんな彼が昨年からはじめた細マッチョ化計画も着実に進行中で、この夏には見事なボディを披露してくれることでしょう。期待していますよ。

(田上町公民館 主事 阿部 俊也 記)

上越市立公民館の武内朋廣さんをご紹介します。武内さんは今年の4月から公民館の事業係長として活躍しています。

どんなことも係内で情報を共有する姿勢を大切にしているので、春からミーティングの機会が増えました。いつも和やかな雰囲気話し合いが進められるのは、係長の持ち前の明るさと笑顔が前面に出ているからだと思えます。

多くの公民館事業を担当し



上越市生涯学習推進課・公民館
事業係長 武内 朋廣さん

ていますが、着々と準備を進めていく姿はとても頼もしいです。地域の方々にとっても大きな存在になっていくことでしょう。

現在は1児のパパ。(9月には2児のパパ!)家庭でも職場でも、いつもニコニコ笑顔で素敵なオーラを出し続けてくださいね!

(上越市生涯学習推進課・公民館
事業係 箕輪 香織 記)

素顔拝見

「地域力」を醸成する公民館活動のポイント
 活発な公民館活動で注目されている島根県公民館連絡協議会が、島根県内の8モデル公民館を選定し、その実践のポイントや「地域力」を醸成する手法・ノウハウをまとめた冊子を刊行しました。

冊子は、選定された8公民館が地域力を醸成するための実践をテーマごとにまとめてあります。



- 1 防災・減災の仕組みづくり
- 2 地域資源を生かした絆づくり・連帯意識の醸成
- 3 中高校生の地域参画
- 4 若者を巻き込むしかけ

島根県公民館連絡協議会
 (島根県教育庁社会教育課内)
 TEL 0852-22-5429
 FAX 0852-22-6218

恵贈資料紹介

島根県公民館連絡協議会編

- 5 住民参画の促進
- 6 地域資源の活用・発信
- 7 多様な主体との連携
- 8 伝統・文化の継承

問い合わせ

島根県公民館連絡協議会

(島根県教育庁社会教育課内)

TEL

0852-22-5429

FAX

0852-22-6218

お元気ですか



「おげんきですか」五十嵐聖一 (前胎内市公民館長)

この春、胎内市役所を退職しました！
 仕事という責任から解放され安堵しているとともにこれから何をしようかと日々思いを馳せらせる今日この頃です。平成7年、当時の社会教育課と体育課が統合され生涯学習課となり、それまで良きライバルとして文科系と体育会系の括りの中で、何をすればみんなが喜ぶのか職員同士お互い切磋琢磨していたことが、つい最近のように思い出されます。私は公民館長として2年間という短い期間でしたが生涯学習を推進すべく職員に背中を押され公民館活動に取り組み、自主活動団体の支援や市民を対象にした講座やイベントなどを通じ多くの参加者と交流する機会を得ることができました。微力でしたが生涯教育の一端を担っていたのだと回想しているところです。

現在再雇用で勤務しておりますが、趣味の柔道を通じスポーツ少年団の子どもたちと週3回ほど時間を見つけ汗を流すことが楽しみとなっています。

※「お元気ですか」のコーナーは現役をリタイアした方がその後も元気に活動している様子を紹介するコーナーです。

Network

県立生涯学習推進センター主催事業

「H26コミュニティリーダー研修会」開催

講師：白戸 洋 (松本大教授)

- 1 日時 平成26年9月9日(火) 10:00～16:00
- 2 会場 県立生涯学習推進センター
- 3 対象 市町村生涯学習関係職員 地域づくりに関心のある方
- 4 費用、定員 無料 50名
- 5 申込 9月1日(月)までに

問い合わせ

県立生涯学習推進センター担当：長谷川

TEL 025-284-6110

今年のサマーは6億円!!
 でっかい夏をまるかじり!

サマージャンボミニ6000万
 6000万円×90本(発売総額270億円・9ユニットの場合)

サマージャンボ6億円
 1等前後賞合わせて6億円
 1等4億円、前後賞各1億円

7月4日(金) 同時発売
 発売期間 7月4日(金)～7月25日(金)
 抽せん日 8月5日(火)

2014年市町村振興宝くじ
 (公財)新潟県市町村振興協会

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

事務局長のつぶやき

会議では言葉を選んで発言します。失言は極力避けなければならぬのはあたりまえのことですね。

都議会のセクハラヤジは内外ともに大きな問題になっています。「早く結婚しろ」は大きなお世

話「産めないのか」は女性蔑視

女性を敵に回したら良いことは皆無です。職場では不用意なセクハラ言葉でそれまでの信用が最下落します。

ちなみに我が家では女性(妻・娘)にはいつも敬意をもって接しています。(田原)